

5. 実施計画各論

基本目標 1 自然との共生を図り、未来へつなぐまち

施策 1 自然環境保全と循環型社会の推進

豊かな水と緑あふれる自然環境、快適で住みよい生活環境、地球環境を守り、育てることで、子どもたちへ引き継ぎます。また、3R（減らす、繰り返し使う、再資源化する）を実践し、限られた資源を有効利用することで、循環型社会の構築を目指します。

指標

項目	現状（令和6年度）	目標（令和12年度）
市民1人あたりのCO ₂ 排出量	7.9 t /年	6.3 t /年
市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	539g	496g
リサイクル率 ¹	23.3%	25.0%
ゼロカーボンに関する啓発実施回数	7件/年	40件（5年間累計）

¹ $(\text{資源化量} + \text{集団回収量}) \div (\text{ごみ総排出量} + \text{集団回収量}) \times 100$

集団回収量：子ども会などの資源回収団体の活動（廃品回収等）による資源物回収量

◆主な取組

自然・環境保全活動の推進

市民や事業者が自然・環境について学ぶとともに、自然と触れ合う機会の創出に取り組みます。また、市民等との連携による環境保全や環境美化の活動に取り組みます。

<取組の体系>

自然・環境保全活動の推進	
自然環境・生活環境保全事業	

事業名		自然環境・生活環境保全事業		
担当課	環境課			
事業内容	<p>小学校を対象とした水生生物調査を実施し、自然・環境保全教育を推進する。</p> <p>各町区や市民団体、語学学校に通う外国人などに向けた環境教育・環境講座を開催し、市民一人ひとりが身近ですぐにできる具体的な行動を紹介し、実践行動を推奨する。</p> <p>市民や事業所、まちづくり推進協議会と連携した定期的な環境美化活動を実施する。</p> <p>可燃ごみ集積所へのごみボックスの設置を推進し、清潔な生活環境の確保を図る。</p>			
総事業費		継続事業	令和8年度事業費	3.0百万円
年度別事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	<p>小学生とその保護者を対象に水辺にすむ水生生物調査の実施</p> <p>各町区や市民団体、語学学校等への環境教育・環境講座の開催</p> <p>市民や事業者、まちづくり推進協議会と連携した定期的な環境美化活動の実施</p> <p>ごみボックス購入費補助</p>	<p>小学生とその保護者を対象に水辺にすむ水生生物調査の実施</p> <p>各町区や市民団体、語学学校等への環境教育・環境講座の開催</p> <p>市民や事業者、まちづくり推進協議会と連携した定期的な環境美化活動の実施</p> <p>ごみボックス購入費補助</p>	<p>小学生とその保護者を対象に水辺にすむ水生生物調査の実施</p> <p>各町区や市民団体、語学学校等への環境教育・環境講座の開催</p> <p>市民や事業者、まちづくり推進協議会と連携した定期的な環境美化活動の実施</p> <p>ごみボックス購入費補助</p>	
関連する個別計画	鳥栖市環境基本計画			

◆主な取組

地球温暖化対策の推進

地球温暖化の原因とされる温室効果ガスを抑制するための対策に取り組みます。

<取組の体系>

地球温暖化対策の推進
ゼロカーボン推進事業

<

事業名	ゼロカーボン推進事業		
担当課	環境課		
事業内容	ゼロカーボンシティ宣言の基となる鳥栖市地球温暖化対策実行計画によって、事業の進捗管理を行います。 市民の自主的、積極的なエコライフ（環境に配慮した）行動の動機付けとなるよう、身近でできるエコライフ行動を市報等で広報し市民の意識向上を図る。また、家庭における再生可能エネルギーの導入促進のため、太陽光発電と蓄電池を導入し自家でエネルギー循環する取組について補助を行う。		
総事業費	継続事業	令和8年度事業費	7.8百万円
年度別事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	鳥栖市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）中間見直し ゼロカーボンに関する啓発 ゼロカーボン推進パートナーの推進 太陽光発電・蓄電池設置補助	ゼロカーボンに関する啓発 ゼロカーボン推進パートナーの推進 太陽光発電・蓄電池設置補助	ゼロカーボンに関する啓発 ゼロカーボン推進パートナーの推進 太陽光発電・蓄電池設置補助
関連する個別計画	鳥栖市地球温暖化対策実行計画		
総合計画 重点戦略			
重点戦略体系	4. 市民と環境にやさしい都市づくり		
重点戦略進捗目標	市民・事業者・行政がそれぞれ一体となった脱炭素社会の実現に向けた取組を推進するため、ゼロカーボンに取組む事業者である「ゼロカーボン推進パートナー」を令和8年度までに50社を目指す。	令和5年度実績	鳥栖市環境基本計画推進会議及び部会を開催し、全庁的に事務事業の洗い出し及び新規事業の検討を行った。12月議会定例会において、ゼロカーボンシティ宣言を行った。宣言後はデコ活に登録し、職員のウォームビズに取り組んだ。
		令和6年度実績	ゼロカーボン推進パートナー制度の新設、申請受付（18社） ゼロカーボン推進パートナー認証式実施
		令和7年度実績	ゼロカーボン推進パートナー登録企業の推進（15社） ゼロカーボン推進パートナー表彰制度の新設（3社）
		令和8年度目標	ゼロカーボン推進パートナー登録企業の推進（17社） ゼロカーボン推進パートナー表彰の実施（3社） 太陽光発電・蓄電池設置補助事業（9件）

◆主な取組

ごみ減量とリサイクルの推進

ごみの減量化や資源物の分別収集によるリサイクルに取り組みます。

<取組の体系>

ごみ減量とリサイクルの推進	
	資源回収奨励補助金事業
	コンテナ収集・美化活動推進奨励金事業

事業名		資源物回収推進事業		
担当課	環境課			
事業内容	資源回収団体へ奨励補助金を交付し、ごみ減量化・リサイクルの推進を図る。 まちづくり推進センターに古紙類回収ボックスを設置し、資源物回収の利便性向上、リサイクル率向上を図る。			
総事業費		継続事業	令和8年度事業費	10.3百万円
年度別 事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	資源回収団体に対し、資源物の回収量に応じ補助金を交付 新聞・雑誌・段ボール・紙パック=8円/kg、古布類=2円/kg まちづくり推進センターへのボックス設置(鳥栖北、田代、旭)	資源回収団体に対し、資源物の回収量に応じ補助金を交付 新聞・雑誌・段ボール・紙パック=8円/kg、古布類=2円/kg まちづくり推進センターへのボックス設置(弥生が丘、若葉、基里、麓)	資源回収団体に対し、資源物の回収量に応じ補助金を交付 新聞・雑誌・段ボール・紙パック=8円/kg、古布類=2円/kg	
関連する個別計画	鳥栖市環境基本計画 鳥栖市一般廃棄物処理基本計画			

事業名		コンテナ収集・美化活動推進奨励金事業		
担当課	環境課			
事業内容	町区での資源物コンテナ収集時のコンテナの配置・整理、排出者への分別の指導、その他町内の美化活動を実施する自治会に対し1世帯あたり240円を奨励金として交付する。町区からの要望に応じ回収品目の追加を行い、効果について検証を行っていく。			
総事業費		継続事業	令和8年度事業費	19.1百万円
年度別 事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	コンテナ収集・美化活動推進奨励金の報告・申請受付、奨励金の交付 町区からの要望に応じ回収品目を追加	コンテナ収集・美化活動推進奨励金の報告・申請受付、奨励金の交付 町区からの要望に応じ回収品目を追加	コンテナ収集・美化活動推進奨励金の報告・申請受付、奨励金の交付 町区からの要望に応じ回収品目を追加	
関連する個別計画	鳥栖市環境基本計画 鳥栖市一般廃棄物処理基本計画			

施策2 集い、交流する緑の空間の創出

誰もが楽しく集い、交流できる公園などの適切な整備・管理を推進します。

指標

項目	現状（令和6年度）	目標（令和12年度）
公園施設の更新等を行う箇所数 （施設数） ²	175箇所	240箇所
市民公園利用者数 ³	106,000人/年	127,000人/年

◆主な取組

公園などの整備と適正管理

遊具を含む公園施設について、安全性の確保を徹底するとともに、必要に応じた設備の充実や更新などに取り組みます。

<取組の体系>

公園などの整備と適正管理	
公園施設長寿命化事業	
市民公園整備事業	
中央公園整備事業	

事業名		公園施設長寿命化事業		
担当課	都市整備課			
事業内容	公園利用者の安心・安全を確保するため、遊具等の安全点検等を行い、必要に応じた修繕等を行う。また、公園施設長寿命化計画等に基づき老朽化した公園施設の機能保全のための改修・更新を行う。			
総事業費		継続事業	令和8年度事業費	—
年度別 事業計画	令和8年度	令和9年度		令和10年度
	公園施設更新等 (遊具・照明・ベンチ等)	公園施設更新等 (遊具・照明・ベンチ等)		公園施設更新等 (遊具・照明・ベンチ等) 公園施設長寿命化計画の見直し
関連する個別計画	鳥栖市公園施設長寿命化計画			

² 都市公園の、劣化が著しく、国の交付金等を活用して更新等を行う必要のある公園の全施設数 240箇所
なお、公園施設長寿命化計画は令和10年度に見直し予定であり公園数は増加する

³ 現状は令和6年度調査

事業名		市民公園整備事業		
担当課	都市整備課			
事業内容	サガン鳥栖 U-15 練習場環境整備に併せ、令和 6 年に策定した市民公園整備基本計画により市民プール跡地や文化会館西側広場の利活用や、文化会館南側の第 2 駐車場からバイパスに抜ける動線の確保などの公園整備を進める。			
総事業費		未定	令和 8 年度事業費	10 百万円
年度別 事業計画	令和 8 年度	令和 9 年度		令和 10 年度
	南北園路解体・整地	健康広場整備 文化会館西側広場導入可能性調査		東西園路、南北園路整備
関連する個別計画				

事業名		中央公園整備事業		
担当課	都市整備課			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 公園の老朽化している遊具など多くの公園施設の改修を含め、立地特性を考慮した Park-PFI など官民連携の検討を踏まえた再整備を行う。 鳥栖地区（駅前）において、内水浸水被害が確認されていることから、中央公園を活用した新たな浸水緩和策に向けた検討を行う。 			
総事業費		未定	令和 8 年度事業費	0.2 百万円
年度別 事業計画	令和 8 年度	令和 9 年度		令和 10 年度
	サウンディング調査、基本計画策定 （↑令和 7 年度繰越予算） 中央公園整備検討懇話会	費用対効果分析 アドバイザー		基本設計・詳細設計
関連する個別計画				

施策3 魅力ある歴史的資源の保存・活用・継承

市民一人ひとりが地域の歴史や文化に誇りと愛着を持ち、伝統を守り、活かし、伝えられるよう、歴史的資源の適切な保存・活用を推進します。

指標

項目	現状（令和6年度）	目標（令和12年度）
講座・見学会等の件数及び参加者数	32件/年 15,192人/年	35件/年 17,000人/年
文化財等の指定・登録件数	44件	46件

◆主な取組

歴史的資源の保護と積極的な活用

勝尾城筑紫氏遺跡をはじめとして、歴史的資源を保護し、次の世代へ継承するとともに、市内外へのPRや、市民がこれらに触れる機会を提供するなどその活用を進めます。また、民俗芸能の保存・伝承等歴史的資源を保護・活用する市民や事業者の取り組みを支援します。さらに、指定文化財等だけでなく、未指定の文化財等を含めた鳥栖地域の歴史的資源を一体的に保存・活用していく取り組みを進めます。

<取組の体系>

歴史的資源の保護と積極的な活用
勝尾城筑紫氏遺跡保存整備事業
伝統行事や民俗芸能の保存・継承支援
各種講座・展示会の開催等による普及・啓発
歴史・文化交流発信施設運営事業

事業名	勝尾城筑紫氏遺跡保存整備事業		
担当課	生涯学習課		
事業内容	勝尾城筑紫氏遺跡の保存及び整備活用を積極的に進め、地域の活性化を図る		
総事業費		継続事業	令和8年度事業費
	令和8年度	令和9年度	令和10年度
年度別事業計画	勝尾城筑紫氏遺跡の環境整備及び活用 葛籠城跡地区整備基本設計 筑紫氏館跡地区の雨水排水応急措置 葛籠城跡地区土地公有化(地権者交渉)	勝尾城筑紫氏遺跡の環境整備及び活用 葛籠城跡地区の整備工事 葛籠城跡地区土地公有化(地権者交渉)	勝尾城筑紫氏遺跡の環境整備及び活用 葛籠城跡の整備工事 葛籠城跡地区土地公有化(地権者交渉)
関連する個別計画	史跡勝尾城筑紫氏遺跡保存管理計画 改訂 史跡勝尾城筑紫氏遺跡整備基本計画		
総合計画 重点戦略			
重点戦略体系	6.産業と観光の魅力を高める都市づくり		
重点戦略進捗目標	葛籠城跡地区・筑紫氏館跡地区の史跡整備の基本計画を示す	令和5年度実績	筑紫氏館跡地区の重要遺跡範囲確認調査、葛籠城跡地区整備用地地権者交渉
		令和6年度実績	史跡整備基本計画改定の検討、筑紫氏館跡流水量調査、葛籠城跡地区整備用地地権者交渉
		令和7年度実績	史跡整備基本計画改定、葛籠城跡地区整備用地公有化及び地権者交渉
		令和8年度目標	史跡整備基本設計の検討、葛籠城跡地区土地公有化地権者交渉

事業名	伝統行事や民俗芸能の保存・継承支援		
担当課	生涯学習課		
事業内容	地域に伝えられてきた伝統行事や獅子舞等の民俗芸能の保存継承を支援する。		
総事業費		継続事業	令和8年度事業費
	令和8年度	令和9年度	令和10年度
年度別事業計画	民俗芸能等の保存継承支援（補助金の交付や斡旋）	民俗芸能等の保存継承支援（補助金の交付や斡旋）	民俗芸能等の保存継承支援（補助金の交付や斡旋）
関連する個別計画	鳥栖市教育プラン		

事業名		各種講座・展示会の開催等による普及・啓発		
担当課	生涯学習課			
事業内容	市民一般を対象に古文書講座や歴史講座等の各種講座、史跡等の見学会や一般公開、展示会等の開催による文化財の積極的な公開・活用を行う。			
総事業費		継続事業	令和8年度事業費	0.5百万円
年度別 事業計画	令和8年度		令和9年度	
	各種講座・見学会展示会等の開催		各種講座・見学会展示会等の開催	
令和10年度		各種講座・見学会展示会等の開催		
関連する個別計画		鳥栖市教育プラン		

事業名		歴史・文化交流発信施設活用事業		
担当課	生涯学習課			
事業内容	サンメッセ鳥栖の1部屋を活用し、九州交通の要衝である鳥栖市を歴史的な視点から紹介する展示施設を整備する。また実際に、現地を訪れる際のポータルとしての機能を持たせる。			
総事業費		継続事業	令和8年度事業費	0.1百万円
年度別 事業計画	令和8年度		令和9年度	
	文化財施設所蔵の文化財整理、企画展の開催		文化財施設所蔵の文化財整理企画展の開催	
令和10年度		文化財施設所蔵の文化財整理企画展の開催		
関連する個別計画		鳥栖市教育プラン		

総合計画 重点戦略			
重点戦略体系		6.産業と観光の魅力を高める都市づくり	
重点戦略進捗目標	観光の視点で歴史文化の魅力を発信する	令和5年度実績	展示施設（歴史・文化交流発信施設）を整備
		令和6年度実績	5月供用開始。映像や展示等により市内の文化遺産をアピールする。また8月にイベントを開催し、小中学生の施設活用を図った。
		令和7年度実績	8月に鳥栖空襲、1月に勝尾城筑紫氏遺跡についての企画展示を行った。小中学生の施設活用として8月にイベントを開催した。
		令和8年度目標	新たな文化財を紹介する企画展を開催する。小中学生の施設活用を図る。